



## 令和5年度 第2回令和のとやま型教育推進研修会

演題 「言葉による見方・考え方を働かせ、育てる授業デザイン」  
講師 和歌山信愛大学 教育学部 子ども教育学科 教授 小林 康宏 先生



11月30日(木)にオンラインで研修会を開催し、150名を超える先生方の参加のもと、国語科における「見方・考え方」を働かせた授業づくりについて学びました。そのポイントをまとめましたので、授業改善等の参考にしてください。

### 日頃の授業を振り返ってみましょう

- 発問を重ね、子供の読みは深まったけれど…  
どんな「読み方」をしたらその解釈に至ったのか、子供は自覚しているのでしょうか。
- たくさん意見交流をして、学級の考えがまとまったけれど…  
活発な話し合いは素晴らしいのですが、「読み方」は身に付いたのでしょうか。
- Aさんの優れた考えを取り上げて広げたいけれど…  
Aさんは今後もその考えを使えるでしょうけれど、Aさん以外の人は使えるでしょうか。



次に同様の課題に出合ったとき、**解決する力**が付いていないことが問題

～国語科の授業でありがちなこと～  
追究内容の獲得と言語活動の活性化に意識は向くけれど、**追究方法の獲得への関心が薄い**

↓

**自力解決の力が弱い**

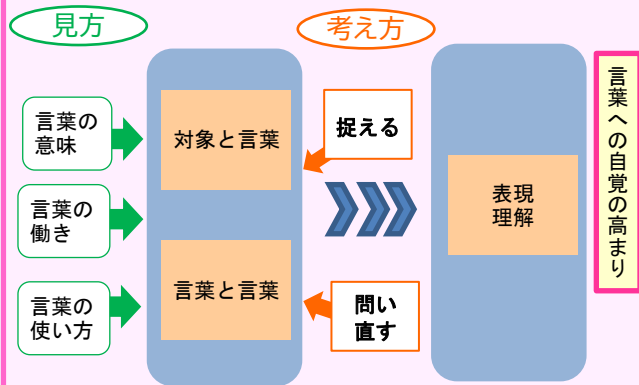
自力解決の力を付けるには、「**どう考えたら解決できるか**」を分かっていることが必要。  
そのためには、**課題解決のための見通し**をもつことが大切。

### 1 課題解決方法のかぎは「見方・考え方」

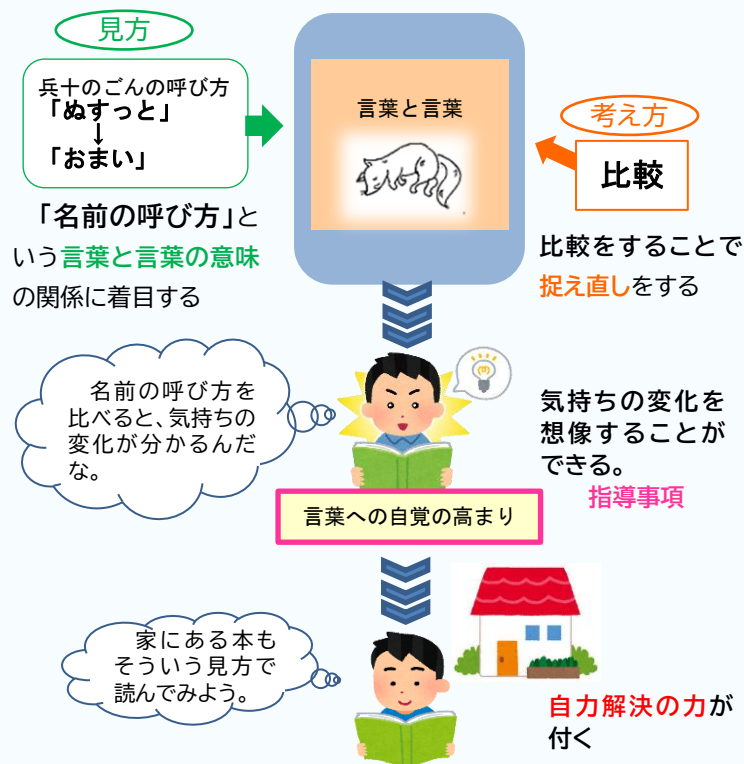
国語科で働かせるのは、

#### 言葉による「見方・考え方」

対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に注目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること



例:「ごんぎつね」の読み取りで



### 2 「見方・考え方」を働かせ、育てる授業デザイン

#### 原則1 何を狙うのかをはっきりさせ、主体的な学びを促す

追究したい内容がはっきりすることで、「どうやったらできるだろう」という意識をもつことができます。

めあて 俳句の様子をくつきり思い浮かべよう

いわしぐも  
大なる瀬を  
さかのぼる  
飯田蛇笏

雲が瀬をさかのぼる?よく分からないな。  
課題意識の高まり  
れいわさん

【瀬】  
①川の水が浅く人が歩いて渡れるところ  
②川の流れの速いところ  
③海流の流れ

#### 原則2 学習過程(プロセス)・見通しを示す

どんな見方でどう考えれば追究内容の獲得に至るか子供自身が見通すことが大切です。

見通し段階で「見方・考え方」を明示すると効果的  
見通しには2つある  
「活動の進め方の見通し」と「見方・考え方の見通し」

導入で「見方・考え方」をもつ

どんな見方で叙述に着目し、どのように考えると「くつきり」思い浮かぶでしょう。

見方:見えるもの(視覚) たとえに注目  
考え方:着目した言葉の意味の具体化

見えるものやたとえに注目して様子を思い浮かべればいいんだな。やってみよう。  
自己調整  
解決の見通しをもつ

#### 原則3 個で取り組む機会を設ける

「見方・考え方」は、使うことで身に付きます。まず、個人追究の時間をしっかりと、見方・考え方を使います。

【書き方の例】  
●見えるものに目を付けると「…」と書いてあって「…」は～なので、□□が浮かびます。  
●たとえに目を付けると「…」と書いてあって「…」は～を…にたとえているので□□が浮かびます。

展開で「見方・考え方」を使う

「大なる瀬」は大空を海流にたとえていると思いました。真っ青な空に「いわし雲」が広がっている様子が浮かびます。  
見えるものに目を付けると、「瀬」と書いてあって、「瀬」は川の流れの速いところなので、川に映ったいわし雲が、川の流れによってさかのぼっている様子が浮かびます。

#### 原則4 対話で深め広げる

個人で考えたものを持ち寄って対話することで、追究内容は深まり、豊かになります。見方・考え方の精度も高まります。

「瀬」を川の流れと捉えるか海流と捉えるかで、見える景色がちがってくる。おもしろいなあ。  
自己調整  
見直す 更新する  
まなぶさん  
まなぶさんのように、たとえに目を付ける見方も使ってみよう。

#### 原則5 推敲・精査する ※本時の評価の場面

対話して得たことを基にして、改めて自分の考えをまとめます。

#### 原則6 3つのポイントで振り返る

深い学びの自覚につなげます。

- ① 何ができるように、分かるようになったか
- ② どうやったらできる・分かるようになったか
- ③ 友達のどんな考えが参考になったか

#### 原則7 活用のために呼びかけを

見方・考え方を使える他の場面を示したり、子供に尋ねたりすることで、「使ってみようかな」という意識が生まれます。

終末で「見方・考え方」を振り返る

見えるものやたとえに目を付けて考えたら、くつきりと思いつけることができた。この方法でいろんな俳句を読んでみよう。  
自己調整  
振り返って活かす

#### 参加者の感想

模擬授業形式で、思考したり対話したりしながら、「見方・考え方」を獲得する授業を体感することができました。他校の先生とも交流できて有意義でした。

これまで、「活動の進め方の見通し」は示してきましたが、課題解決のために働かせる「見方・考え方の見通し」をもたせていなかったことに気がきました。「見方・考え方」を意識した発問や振り返りを工夫していきたいです。